



ご卒業おめでとうございます！

3年生のみなさん、「ご卒業おめでとうございます」。みなさんは、授業・行事・部活動など、全ての場面において、3年間全力で取り組み、友人とともに汗を流したり、喜んだり、時には涙しながら、笹中の歴史の中でも「キャリア学習」への取組が抜群の学年だったと思います。特に、1年生の時から、「面接練習」に熱心に取組み、トライやる・ウィークや進路実現（入試）において、その成果を大いに発揮してくれました。

4月からは、それぞれ進む道は違います。新しい環境では、自分が想像していたことと違うことや、思い通りにいかないことがよくあります。しかし、そんな時ほど、自分の決めた道（夢や目標）に向かって、あきらめず、あわてず、今しなければならぬことは何かをしっかりと見極めて、毎日を過ごしてほしいと思います。

そして、2030年までに方向性を見極め、2050年に直面するであろう世界規模の課題を解決できるように、この美しい地球を守る「地球市民・世界市民」として活躍してほしいと願っています。これからの未来は、みなさんの手にかかっています。



【卒業生 旅立ちに向けての エール】

**「人生は、出逢いと 感動と 笑い、
そして 感謝である」**

- 多くの人と書物に出逢ってください。
- 多くの体験を積んで、感動を味わってください。
- いつも笑顔を忘れないでください。
- いつも周りの人に「ありがとう」を伝えてください。

予測不能な未来を生きるための【人間力】

1. 主体性・判断力・決断力
自分から積極的に物事に取組もうとする気持ち
物事を正しく判断し、実行する力
 2. 想像力・創造力
新しい物事をつくり出したり、イメージする力
 3. 粘り強さ・最後まであきらめない気持ち
- これら3つの前提は、
「コミュニケーション力」と「リスペクト（尊重）」

★「見える学力」と「見えにくい学力」のバランスをとってくださいね！

< 3年生進路状況結果報告 >

2月末までに、高等専修学校、通信制高校、私立高校、公立高校推薦・特色選抜・多部制単位制Ⅰ期試験の入試が終了しました。

現時点で私立高校等に37名、公立高校推薦・特色等に21名、計58名（約44%）が進路を決定しています。3月12日（金）には、公立高校学力検査があり、残りの3年生が挑戦します。今日一日、体調管理を万全にし、平常心を心がけましょう。笹中の先生方全員で、みなさんの健闘を祈っています。

なお、今年度は、110名（約83%）が、専願・併願を含めて私立高校等を受験しました。

【卒業後の進路相談について】

伊丹市では、一昨年度まで「伊丹市少年進路相談員制度」が設けられていました。中学校卒業後の1年間、卒業生が、進路変更（退学、転学、離職等）で悩んだときに、相談にのっていただける制度で、市内各中学校区に、2名ずつの進路相談員さんが配置されていました。

しかしながら、諸般の事情により、昨年度からこの制度が終了となり、従来から実施されている「伊丹市立少年愛護センター相談事業」の一環となっております。卒業後、お子様がそれぞれの進路先で困難に出会ったり、悩みを抱えたりしているときに、ぜひ、ご活用ください。豊富な知識と経験をもった相談員が対応してくれます。個人情報や秘密は厳守されます。

もちろん、中学校でも相談にのります。ただ、先生には少し相談しにくいようなときに、悩みをきいてくださる方法の1つとなります。

【3年生の先輩からのメッセージ】

毎年学期ごとに実施している『仲間づくり週間』での「イイネの木」や、体育館での発表ができないため、3年生の先輩から、1・2年生の後輩へ、ラストメッセージが贈られています。

給食配膳室前廊下に、感謝の言葉やこれからの笹中へのエールが、一杯咲いていました。3年生のみなさん、ありがとうございました。



【3年生「お別れ球技大会」】



2月25日（木）午後、3年生最後の「お別れ球技大会」が行われました。少し風が冷たかったですが、天候に恵まれ、男女ともに、体育館で伊丹発祥の『いたっボール』、グラウンドで『サッカー』と『ドッジボール』をエンジョイしました。

最後まで、企画・運営を自分たちでやり切っていることと、みんなが和やかな雰囲気、笑顔満開だったのが印象的でした。